

3.2 東毛広域圏

3.2.1 人口動向等

(1) 人口推移

今後総人口は減少し令和 27 年には平成 27 年の 79% (約 564 千人→約 442 千人) と予測されています。高齢者人口は微増となるため、高齢化率が平成 27 年の 27% (約 564 千人中約 152 千人) から令和 27 年には 37% (約 442 千人中約 165 千人) になると予測されています。

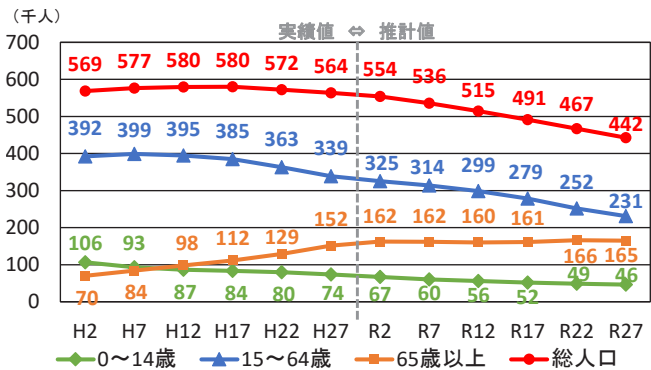


図 3-24 人口推移

資料: 国立社会保障・人口問題研究所

(2) 人口密度

これまでの公共交通補助政策を前提とすると、人口密度を指標とした場合に適用する交通手段は、一般路線バスが 2,500 人/km² 以上、コミュニティバスが 500 人/km² 以上 2,500 人/km² 未満、小型車両や区域運行が 500 人/km² 未満程度とされています。

館林市、大泉町、太田市、桐生市、みどり市の市街地部では路線形態が可能なレベルの人口密度となっています。桐生市・みどり市の中山間地は路線形態でのサービスが難しい人口密度の低い地域が広がっています。鉄道では、わたらせ渓谷鐵道の大間々以北は人口密度が低い地域を通過しています。

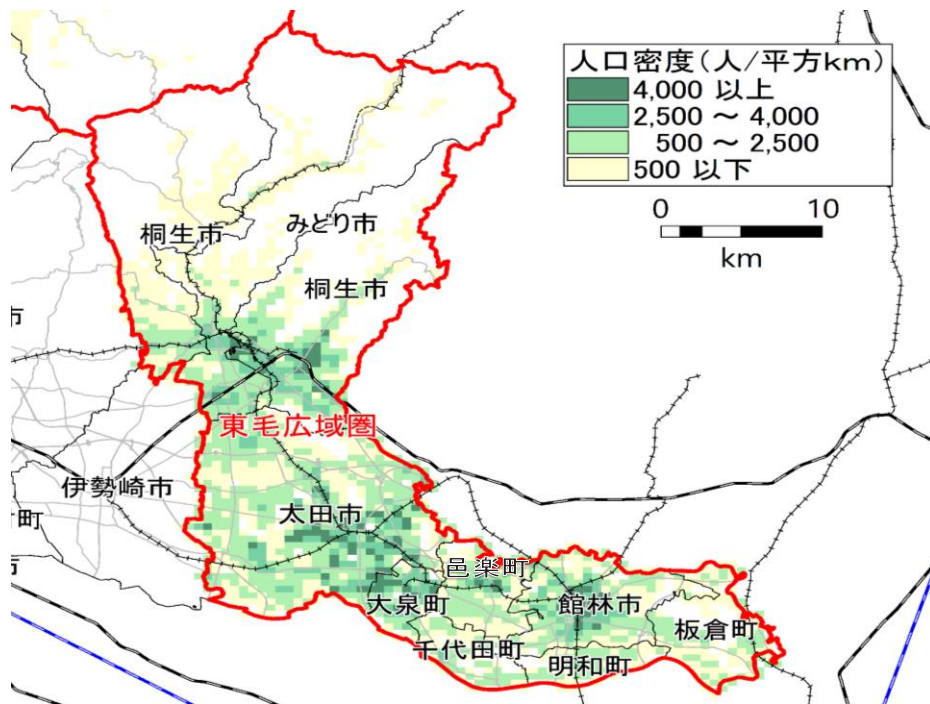


図 3-25 人口密度

資料: 平成 27 年国勢調査

(3) 高齢化の状況

人口の多い地区が高齢者人口も多い傾向がみられます。桐生市北部では、人口の少ない割に高齢者人口の多い地域がみられます。

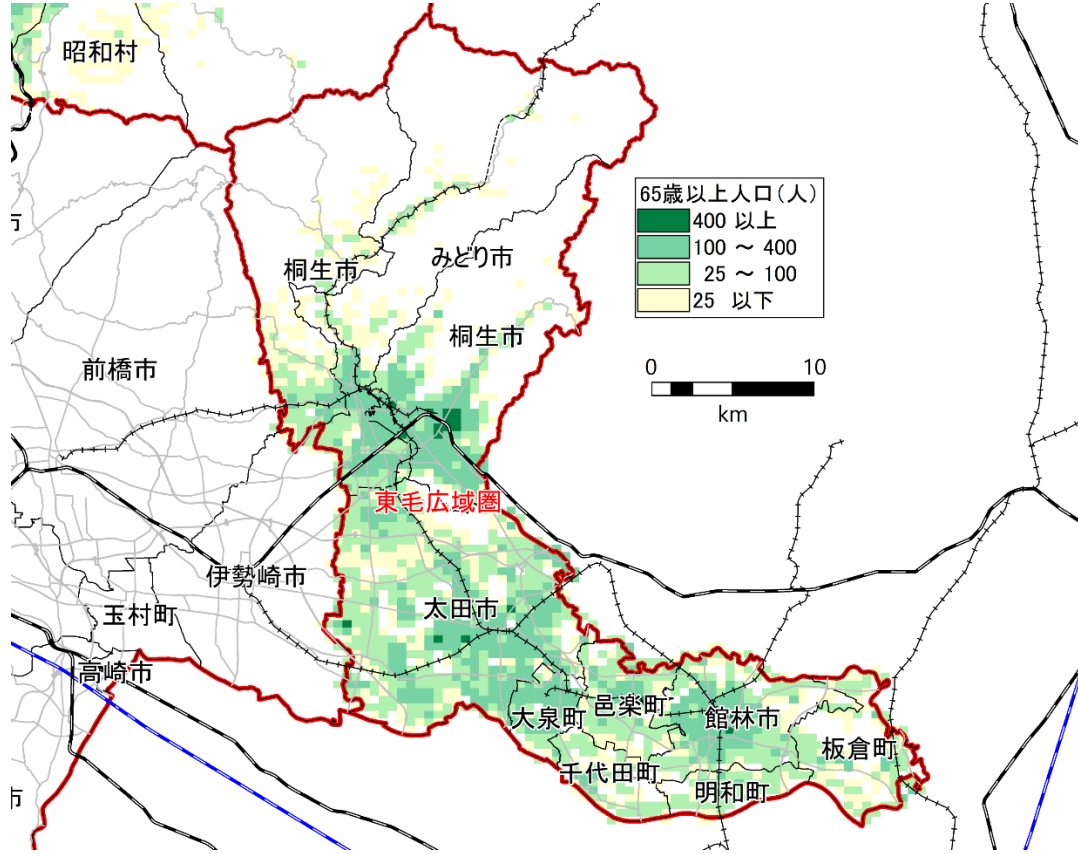


図 3-26 500mメッシュ高齢者人口

資料:平成 27 年国勢調査

3.2.2 施設立地

医療機関と教育機関について立地状況を整理しました。医療機関、教育機関とも、太田市、館林市、桐生市中心部の周辺で、鉄道駅の比較的近くに多く立地していますが、鉄道駅から離れて立地している場合もあります。

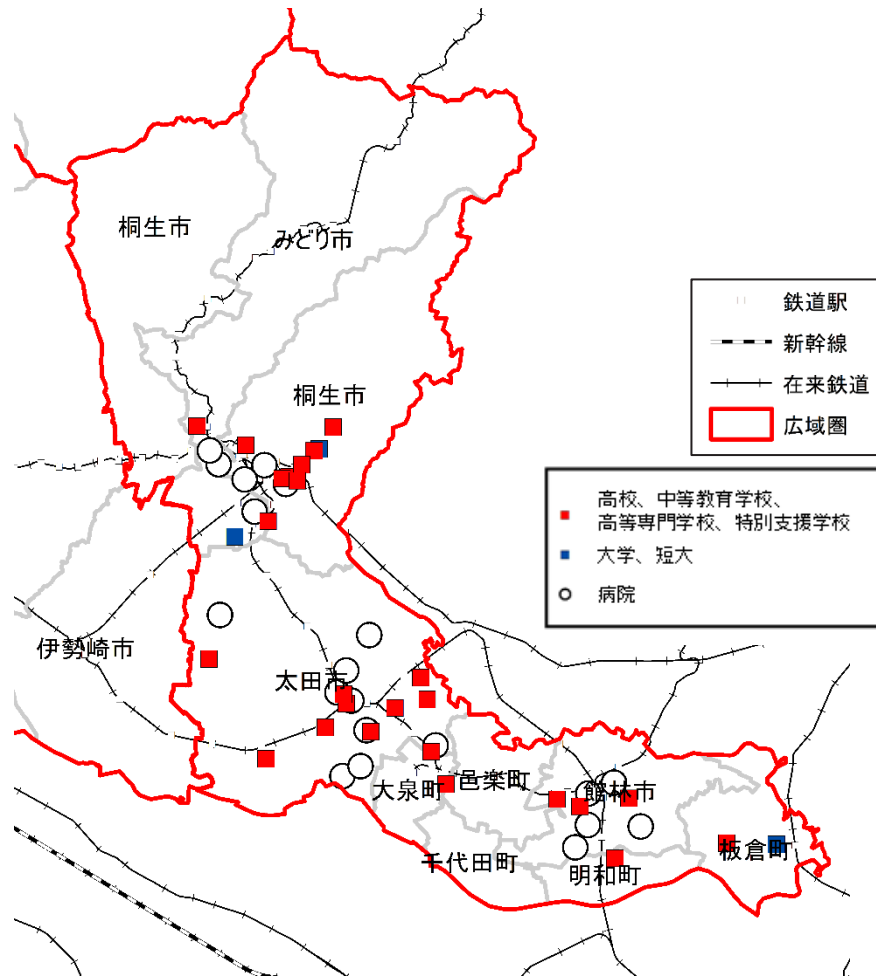


図 3-27 主要施設位置

資料：高校・大学は各校ホームページより抽出、
病院は 100 床以上の病院を各病院ホームページより抽出

3.2.3 公共交通ネットワークの現状

(1) 鉄道・路線バス

- 鉄道は、JR 両毛線（足利～桐生～伊勢崎）、東武伊勢崎線（羽生～館林～足利市～太田～伊勢崎）、東武日光線（新古河～板倉東洋大前～栃木）、東武佐野線（館林～佐野）、東武小泉線（太田～東小泉、西小泉～東小泉～館林）、東武桐生線（太田～新桐生～赤城）、上毛電気鉄道（西桐生～赤城～粕川）、わたらせ渓谷鐵道（桐生～大間々～間藤）が通っています。民間路線バスはほとんど運行されておらず、行政運営の路線バス及びデマンド交通※が運行されています。
- 館林都市圏の鉄道網は、館林市、明和町を通る東武伊勢崎線、館林駅を起点とする東武佐野線、東武小泉線、板倉町を通る東武日光線の 4 路線 9 駅で構成されており、それを補完する行政運営の路線バスが館林駅を中心に多く運行されていますが運行本数が少ない状況です。
- 大泉町は町営バス、民間路線バスが各 1 路線で交通空白地域があります。（高齢者等限定デマンド交通※が補完）
- 太田市は鉄道、民間路線バス、市営の路線バス（有料と無料）で市内をカバーしていますが、北部地域は交通空白地域があり太田駅へ自動車直接アクセスする移動が多くみられます。
- みどり市は鉄道、市内デマンド交通※が運行されています。
- 桐生市は、市街地部が鉄道、路線バスでカバーされています。新里地区は上毛電鉄、デマンド交通※が運行しています。黒保根地区はわたらせ渓谷鐵道があり、デマンド交通※、自家用有償旅客運送も運行しています。

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

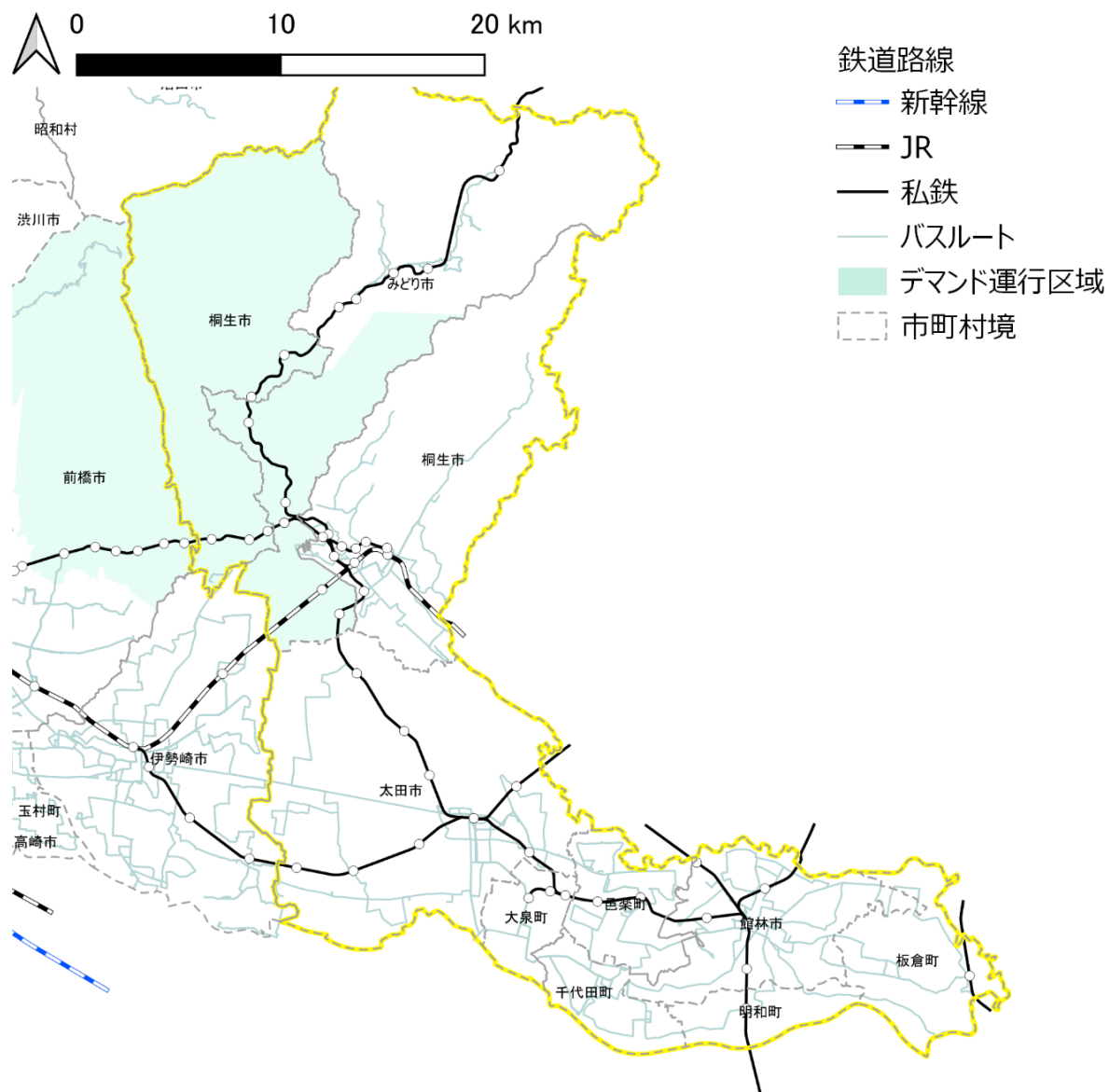


図 3-28 公共交通路線網

- ※ みどり市のデマンド交通※はミーティングポイント型※で乗降場所が限定されている。
- ※ 大泉町では利用者を高齢者・障害者・妊娠中の人に限定了したデマンド交通※が運行している。(非表示)
- ※ 太田市では利用者を高齢者・障害者に限定了したデマンド交通※が運行している。(非表示)
- ※ 明和町の乗合タクシーのチョイソコめいわは無料で実験実施中である。(非表示)

資料:各種資料等をもとに群馬県作成

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

2) 路線バス

バスの運行本数(平日)は、民間事業者が運行する太田駅～イオンモール太田間、太田駅～熊谷駅間については、運行本数が60本/日以上であり、日中時間帯でも2本/時以上が運行されています。桐生市おりひめバスの梅田線・川内線・広沢線、太田市営無料バスの西バス系統・東バス系統、館林都市圏広域公共路線バスの館林・板倉線については、運行本数が20本/日以上ですが、その他の路線の運行本数は少なくなっています。

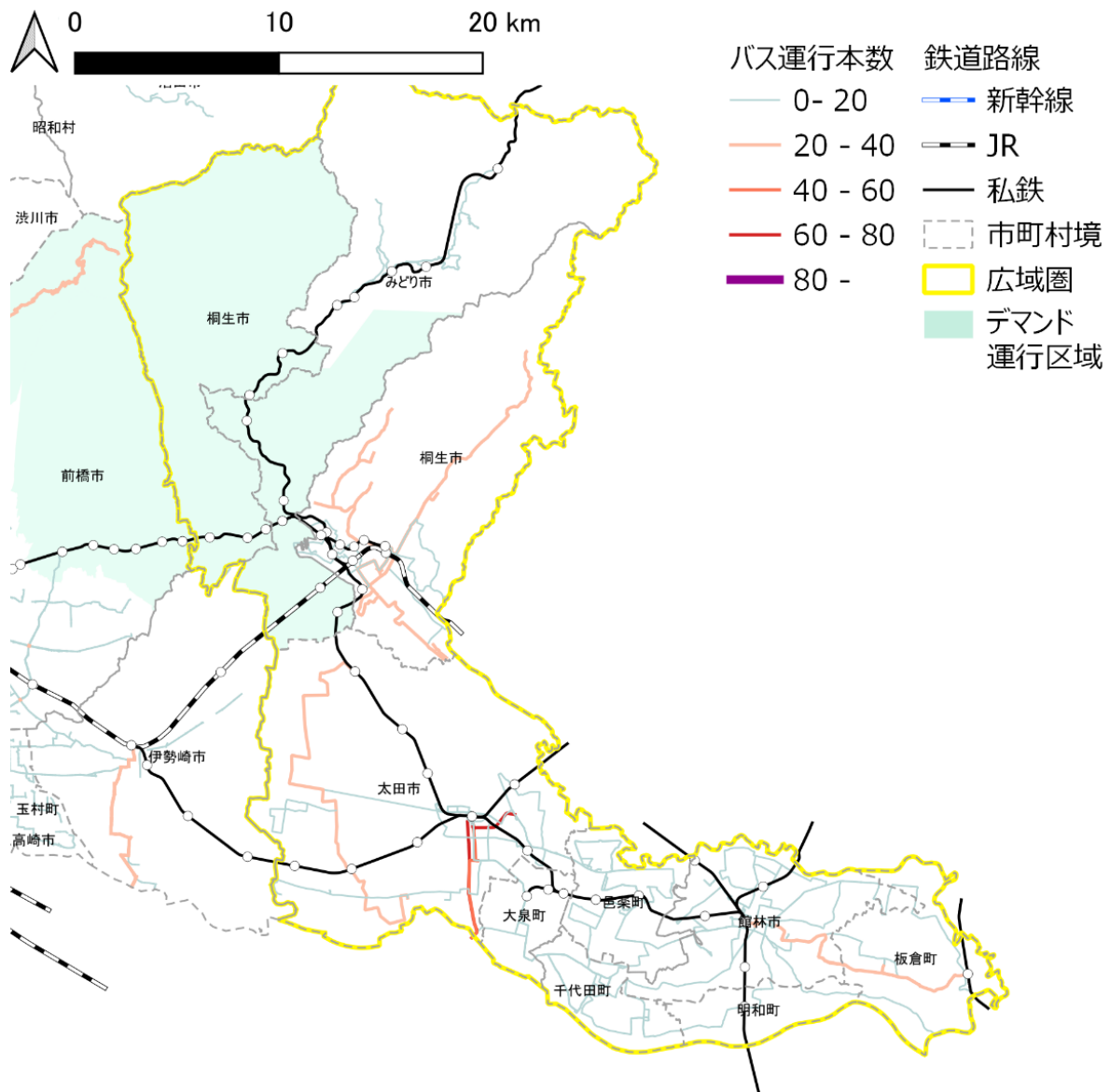


図 3-30 バス運行本数(平日)

資料:各種資料等をもとに群馬県作成

(2) その他の輸送手段(福祉輸送、スクールバス等)

各市町で運行されているその他の輸送手段や、高齢者に対する運賃補助制度は、以下のとおりです。

表 3-27 その他輸送手段等(桐生市)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
敬老パスポート券	桐生市	⑦運賃補助(バス)	市内全域(桐生朝日自動車)	70歳以上	1か月:500円、3か月:1,460円、6か月:2,850円 割引率(通勤定期比)91.6%	-	-	年度または期間:令和元年度 5,301千円/年
デマンド回数券	桐生市	⑦運賃補助(バス)	新里町、黒保根町(沼田屋タクシー)	70歳以上	15回分:3,000円 7回分:1,500円	-	-	年度または期間:令和元年度 939千円/年
低速電動コミュニティバス「MAYU」	桐生市	⑧その他(グリーンスローモビリティ)	重伝建コース、動物園・遊園地コース	制限なし	無料	土日(祝日除く)	②ワゴン車両※低速電動バス	年度または期間:令和元年度 4,147人/年
公共交通空白地有償運送	特定非営利活動法人グループ28	③自家用有償旅客運送(交通空白地有償運送)	黒保根町	町内在住で、身体状況、バス停・駅までの距離等の理由で公共交通機関を利用できない方(登録制)	・運賃100円/km ・迎え料金30円/km、待機料金200円/15分、付添料金250円/15分	月～金(祝日・年末年始を除く)	①セダン車両 ②ワゴン車両	年度または期間:令和元年度 1,585回/年
買い物ツアー(試行事業)	桐生市社協、(社福)徳昌会	④ボランティア運送	川内地区	川内地区在住の方	無料	H30年9月、H30年11月、令和1年9月の計3回	②ワゴン車両	年度または期間:H30年9月、H30年11月、令和1年9月の計3回 33人/3回(12人/13人/8人)

※他、福祉有償運送(13事業者)、スクールバス(4校)
資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-28 その他輸送手段等(太田市)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
おうかがい市バス	太田市	①デマンド交通	市内全域	・70歳以上の人 ・70歳未満で身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の保有者 ・その他特別の理由により市長が認めた人	地区内200円地区外300円	月～金(祝日・年末年始を除く)	②ワゴン車両	年度または期間:令和元年度 31,647人/年
福祉Mover	株式会社エムダブルエス日高	⑤施設送迎バスへの混乗	太田デイトレセンターより半径5キロ圏内	デイサービス利用者(施設への通所日以外にも利用可能)	無料(期間限定)	月～土(年末年始を除く)	②ワゴン車両	年度または期間:令和元年度 100件程度/月
太田市社協、(社福)圓会	買い物支援※今後実施予定	④ボランティア運送		今後決定	無料	月2回		年度または期間: 人/年

※他、福祉有償運送(12事業者)、スクールバス(12校)
資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-29 その他輸送手段等(館林市)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
シニアバス(公共路線バス)	館林市外四町、つじ観光バス、館林観光バス	⑦運賃補助(バス)	市内全域(つじ観光バス、館林観光バス)	70歳以上	1か月:500円、3か月:1,500円、6か月:3,000円※6か月はR2.8から販売開始	—	—	年度または期間:令和元年度 95人/年(1か月)297人/年(3か月)
高齢者無料定期券交付事業	館林市	⑦運賃補助(バス)	市内全域	70歳以上で運転免許非保有かつ同一世帯に運転できる人がいないかた	6か月定期(3,000円)	—	—	年度または期間:令和元年度 1,263千円/年
高齢者通院等タクシー助成事業	館林市	⑥運賃補助(タクシー)	市内全域	70歳以上	500円×24枚(通院限定)	—	—	年度または期間:令和元年度 19,011千円/年
買い物支援事業 ※現在休止中	館林市社協、(社福)全仁会、(社福)光生会、(社福)ポプラ会	④ボランティア運送	赤羽地区、三野谷地区(予定)	70歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者二世帯、市社協支部長が認めた者(要介護1～5は除く)	無料	赤羽地区(3つに分類):基本は毎週木曜日(利用者の意向で対応)三野谷地区(予定):第2・第4火曜	②ワゴン車	年度または期間:令和元年10月31日～令和2年2月20日 13名/16回

※他、福祉有償運送(2事業者)

資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-30 その他輸送手段等(みどり市)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
高齢者福祉タクシー料金助成事業	みどり市	⑥運賃補助(タクシー)	市内全域	市内に居住する65歳以上の者で、①要支援又は要介護認定を受けている②自動車を所有していない③所得税非課税世帯の全てに該当するもの	利用券1枚あたり600円、年間最大48枚交付	毎日	①セダン車両 ②ワゴン車両	年度または期間:令和元年度 5,495千円/年
公共交通空白地有償運送	特定非営利活動法人グループ28	③自家用有償旅客運送(交通空白地有償運送)	東町地区	町内在住で、身体状況、バス停・駅までの距離等の理由で公共交通機関を利用できない方(登録制)	・運賃100円/km・迎え料金30円/km、待機料金200円/15分、付添料金250円/15分	月～金(祝日・年末年始を除く)	①セダン車両 ②ワゴン車両	年度または期間:令和元年度 1,585回/年 ※桐生市黒保根町との合計

※他、福祉有償運送(2事業者)、スクールバス(3校)

資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-31 その他輸送手段等(板倉町)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
福祉タクシー支援事業	板倉町	⑥運賃補助(タクシー)		・障害者手帳・療育手帳をお持ちの方・70歳以上の高齢者のみの世帯・母子、父子家庭世帯・運転免許証を自主返納された方(70歳以上)	福祉タクシー利用券1枚500円×48枚または24枚	—	—	年度または期間:令和元年度 1,372千円/年
板倉町コミュニティバス	板倉町	⑧その他(自治体無償住民輸送)	町内+館林市	町民	無料	月～金(年末年始を除く)	②ワゴン車両	年度または期間:令和3年度 平均300人/月

※他、スクールバス(2校)

資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-32 その他輸送手段等(明和町)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
福祉タクシー利用料金助成事業	明和町	⑥運賃補助(タクシー)		・70歳以上の者のみで構成する世帯・70歳以上の者と65歳以上の者で構成する世帯(四輪自動車を所有していない世帯)・ひとり親家庭、生活保護受給者等	運賃のうち基本料金を補助、1世帯につき年間36枚	—	①セダン車両	期間: H31.4.1～ R2.3.31 2,174千円/年
チョイソコめいわ(実証実験)	明和町社会福祉協議会	①デマンド交通	町内全域	会員制:登録無料小学生以上の町民	無料	月～金(年末年始を除く)	②ワゴン車両	年度または期間:2020.4～2021.7 約2,600人/年
楽タクシー(実証実験)	明和町社会福祉協議会	①デマンド交通	町内+館林市	会員制:登録無料小学生以上の町民	5,000円/月または回数券500円/枚(令和3年3月31日まで期間限定無料運行)	月～金(祝日・年末年始を除く)	②ワゴン車両	年度または期間: 2020.10～ 2021.7 1,370人/年

資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-33 その他輸送手段等(千代田町)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
福祉公共交通利用料補助金	千代田町	⑦運賃補助(バス)		自家用車が無く外出困難な方(75歳以上の単身・二人世帯、障害者手帳をお持ちの方、妊産婦)	補助金額:公共交通機関利用代金の3分の1(年間限度24,000円)	—	—	年度または期間:令和2年度 119千円/年 7名利用
お買い物バスツアー	千代田町社会福祉法人	④ボランティア運送	町内全域	□町内在住の概ね75歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみ世帯の方・□運転免許証を返納した方や車をお持ちでない方・□車でワゴン車に乗降でき、買い物や支払い、袋詰め等ができる方	無料	月5回程度程(月・金)	②ワゴン車両	年度または期間:R2年11～3月 23人/年

資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-34 その他輸送手段等(大泉町)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
高齢者等デマンド交通「ほほえみ」	大泉町	①デマンド交通	町内全域	登録制:町内在住の65歳以上※付添者(12歳以上の人)同乗可、妊娠中の方、対象者同伴の未就学児、町長が認める者	大泉町内の移動:300円、大泉町外の移動:500円、中学生以下:100円、未就学児:無料※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人は半額※付添者は割引適用外	月～金曜日(祝日・年末年始を除く)	②ワゴン車両	年度:令和元年度、令和2年度 4,130人/年(R1) 4,049人/年(R2)

資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

表 3-35 その他輸送手段等(邑楽町)

名称	実施主体・委託者	導入内容	導入地区	対象者	料金	運行日	使用車両	利用実績
福祉タクシー推進事業	邑楽町	⑥運賃補助(タクシー)		障害者手帳、療育手帳をお持ちの方、満70歳以上の1人暮らし世帯、いずれも満70歳以上の2人暮らし世帯、満70歳以上の日中1人暮らし又はいずれも満70歳以上の日中2人暮らし世帯で、かつ、月2回以上の通院が継続的に認められる方、運転免許証を自主返納した方	1枚400円×48枚	—	—	年度または期間:令和2年度 7,472千円/年

資料:市町村提供資料等をもとに群馬県作成

3.2.4 人流の実態

(1) 公共交通利用者数

1) 鉄道利用者数の推移

JR 両毛線及び東武鉄道の利用者数は、平成 27 年度から令和元年度まで概ね横ばい、もしくはは微減傾向となっていました。令和 2 年度はコロナ禍の影響で、JR 両毛線は平成 27 年度の 72%、東武鉄道は 34%まで、それぞれ大幅に減少しました。

上毛電気鉄道も同様に平成 27 年度から令和元年度にかけて横ばいから微減傾向でしたが、やはり令和 2 年度はコロナ禍の影響で、平成 27 年度の 76%まで減少しています。

わたらせ渓谷鐵道は減少傾向にあり、令和元年度は平成 27 年度の 83%となっていました。令和 2 年度にはコロナ禍の影響で 55%まで落ち込んでいます。

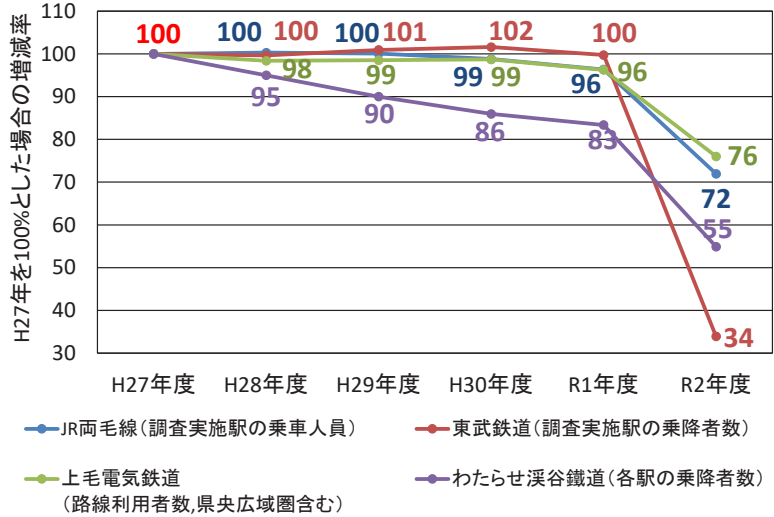


図 3-31 鉄道利用者数の推移

資料:事業者提供資料等をもとに群馬県作成

2) 鉄道駅乗降人員

鉄道駅乗降人員は、太田駅、館林駅、桐生駅が多くなっています。

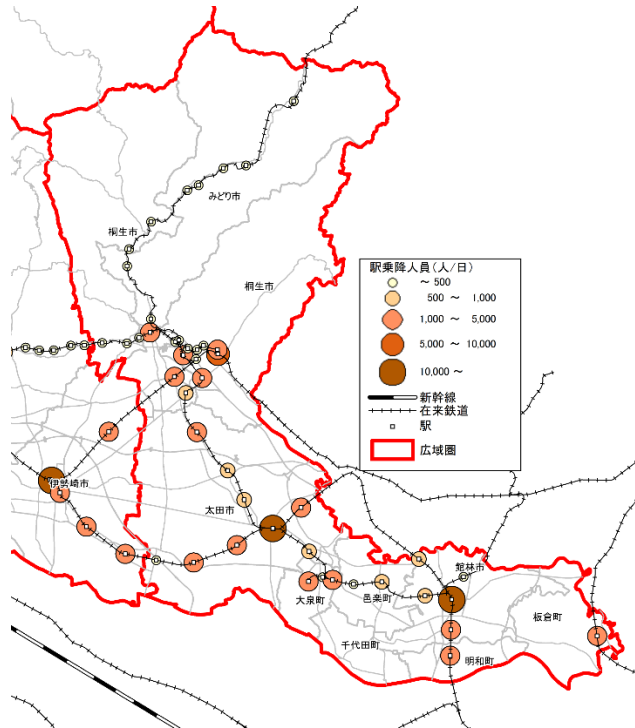


図 3-32 鉄道駅乗降人員 ※無人駅を除く

資料:国土数値情報(2019年)

3) 鉄道駅端末交通手段

本圏域内の乗降客数上位3つ（太田駅、館林駅、桐生駅）と乗換駅（東小泉駅、相老駅、赤城駅）の端末交通手段（アクセス交通）は次図のとおりです。全ての駅で徒歩もしくは自転車が半数以上を占めており、公共交通が占める割合は低くなっています。

相老駅、赤城駅では、自動車（パークアンドライド※、送迎）の分担率が30%以上と高くなっています。

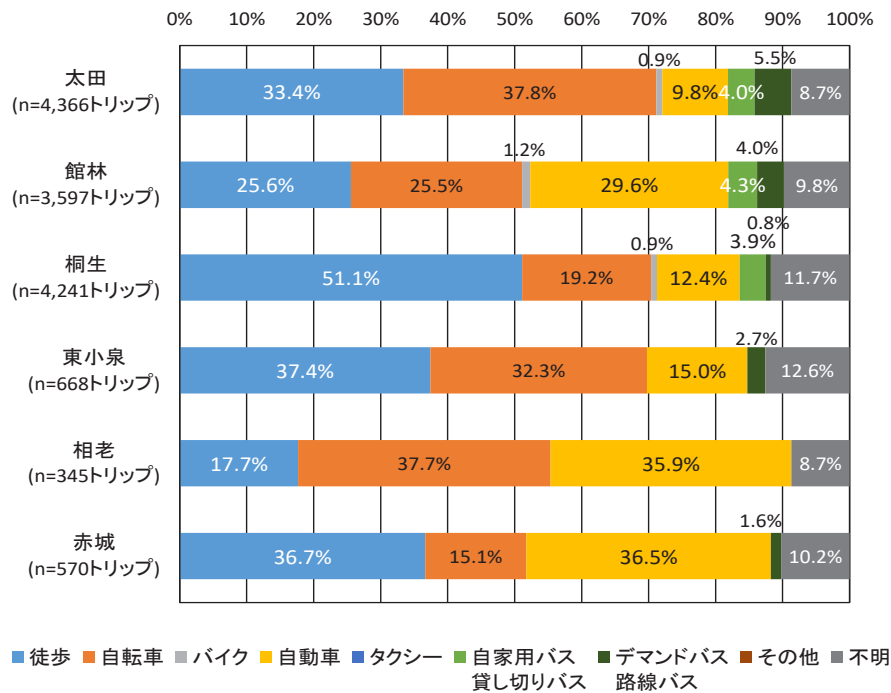
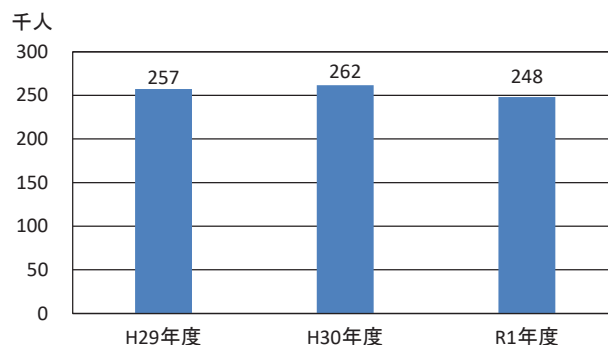


図 3-33 駅端末交通手段構成比

資料:群馬県パーソントリップ調査

4) 路線バス利用者数の推移

路線バスの利用者数は、平成29年度から令和元年度まではほぼ横ばいです。



※桐生市 MAYU、太田市営無料バス、広域公共路線バス（あおぞら以外）、大泉町高齢者等デマンド交通※「ほほえみ」を除く。

図 3-34 路線バス利用者数の推移(圏域内における市町村委託路線の利用者数)

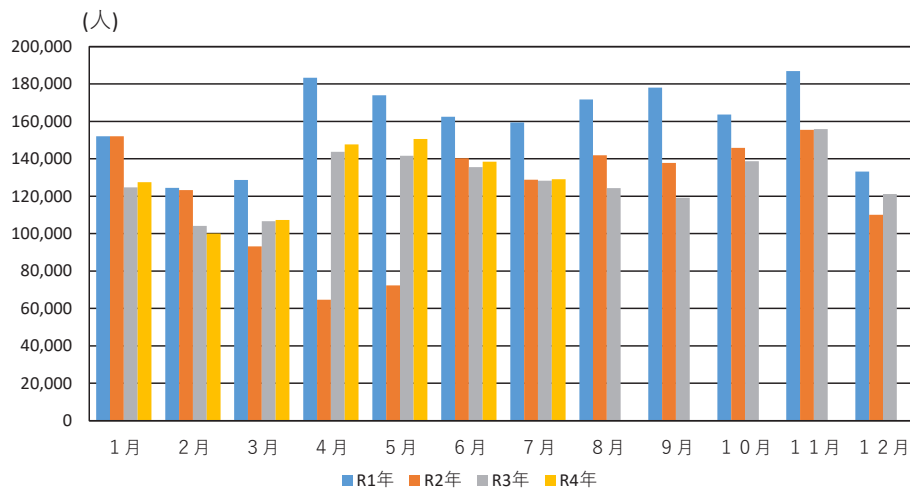
資料:事業者提供資料等をもとに群馬県作成

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

5) 新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスによる鉄道（上毛電気鉄道とわたらせ渓谷鐵道の2路線）利用者数への影響は、令和2年4月には前年比約35%に減少し、6月になり前年比約86%、10月には約89%まで回復しましたが、11月以降は微減に転じています。なお、令和3年4月以降は持ち直していますが、やはり令和元年の水準には戻っていない状況にあります。

新型コロナウイルスによる路線バス（市町村委託路線）利用者数への影響は、令和2年3月からみられ前年比約71%、令和2年4月には前年比約47%と急激に減少し、5月が前年比約43%と最も落ち込みましたが、6月以降は回復し、9月には前年比約79%に回復しました。



※上毛電気鉄道(県央広域圏含む)及びわたらせ渓谷鐵道輸送人員(人/月)

図 3-35 鉄道利用者数の変化

資料:事業者提供資料等をもとに群馬県作成

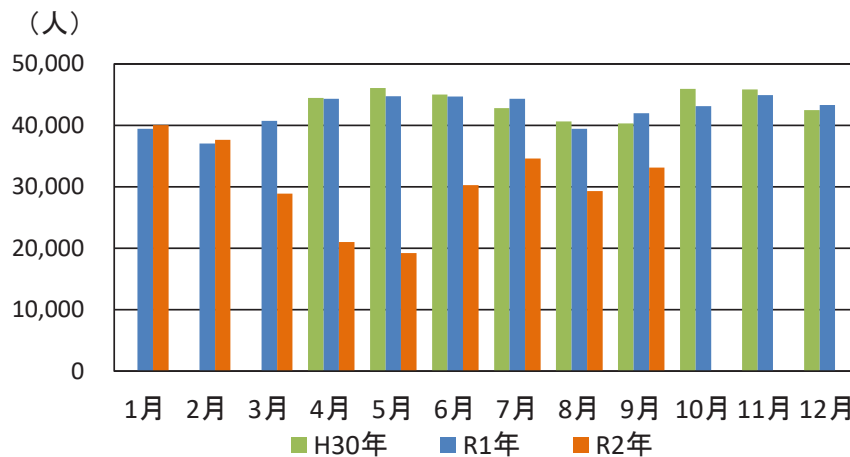


図 3-36 路線バス(市町村委託路線)利用者の変化

資料:事業者提供資料等をもとに群馬県作成

(2) 目的別移動実態

1) 通勤目的集中量

通勤目的トリップは桐生市、みどり市、太田市、館林市の中心市街地メッシュに集中しています。特に顕著なのが SUBARU 群馬製作所本工場周辺、太田市役所周辺、桐生市役所・桐生厚生総合病院周辺です。

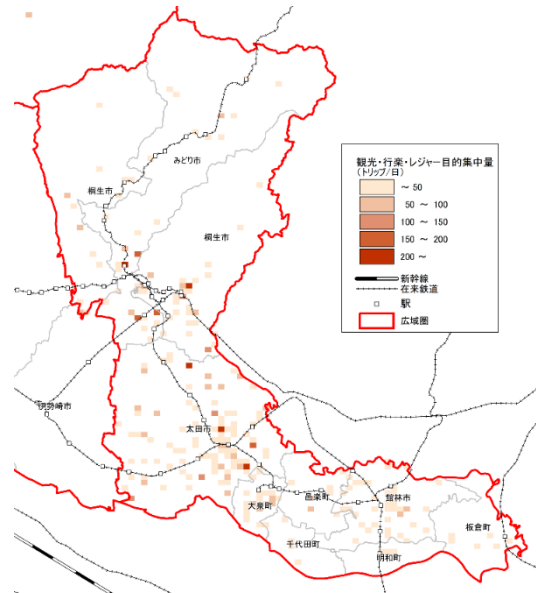


図 3-37 通勤目的集中量

資料:群馬県パーソントリップ調査

2) 通学目的集中量

通学目的トリップは桐生市、太田市、館林市の学校周辺メッシュに集中しています。特に顕著なのが、群馬大学理工学部・桐生工業高校周辺、太田市立藪塚本町小学校・中学校周辺、桐生高校・桐生商業高校周辺、館林女子高校周辺です。

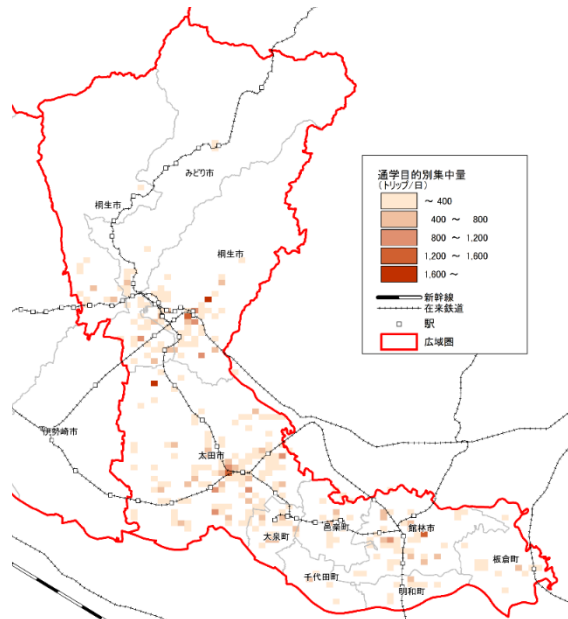


図 3-38 通学目的集中量

資料:群馬県パーソントリップ調査

3) 買物目的集中量

買物目的トリップは桐生市、みどり市、太田市、館林市、千代田町のショッピングセンター周辺メッシュに集中しています。特に顕著なのが、イオンモール太田周辺、ニコモール新田周辺、マーケットシティ桐生周辺です。

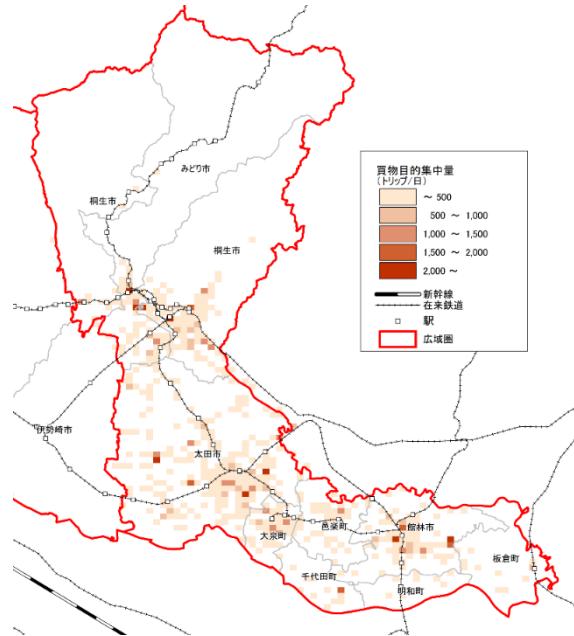


図 3-39 買物目的集中量

資料:群馬県パーソントリップ調査

4) 通院目的集中量

通院目的トリップは桐生市、みどり市、太田市、館林市の大規模病院周辺メッシュに集中しています。特に顕著なのが、桐生厚生総合病院周辺、太田記念病院周辺、東邦病院周辺、公立館林厚生病院周辺です。

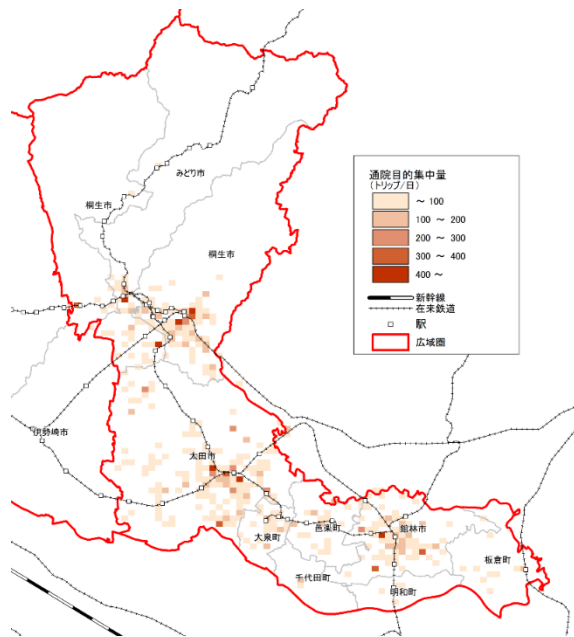


図 3-40 通院目的集中量

資料:群馬県パーソントリップ調査

5) 観光目的集中量

観光目的トリップは桐生市、みどり市、太田市の公園周辺に集中しています。特に顕著なのが、大間々駅周辺、桐生が岡公園周辺、太田市運動公園周辺です。

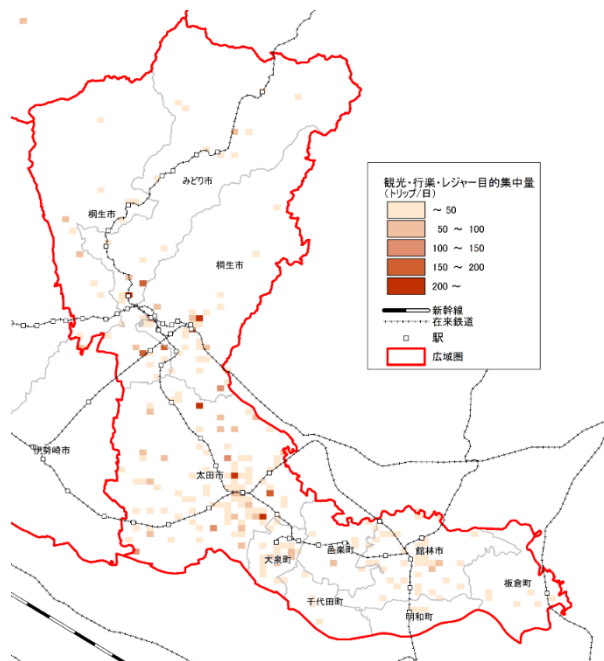


図 3-41 観光目的集中量

資料:群馬県パーソントリップ調査

(3)「鉄道バスネットワーク」と「人の流動」との関係

次の図は、鉄道・バスネットワーク（区域運行は着色）に、鉄道を利用していない全目的トリップ（赤色のライン）と、鉄道を利用している全目的の移動の駅端末トリップ（緑色のライン）を重ね合わせたものです。前者（赤色のライン）では鉄道路線にマッチしていない流動がどのくらいあるか、後者（緑色のライン）ではどの駅の鉄道利用が多いか、それぞれ確認します。

- 本広域圏内では、みどり市と桐生市間、太田市内と大泉町間、桐生市から太田市間の流動が多くなっています。本広域圏外との流動では、太田市から伊勢崎市間、太田市と足利市間、桐生市から前橋市間の流動が多くなっています。
- 館林市郊外と館林中心部間の流動、大泉町内の流動、太田市内での流動、桐生市・みどり市郊外と桐生市・みどり市中心部の流動が多くなっています。
- 移動からみると、桐生市・みどり市、太田市・大泉町、館林市・周辺町の3圏域に分かれ、太田市・大泉町は伊勢崎市、足利市との結びつきが強くなっています。
- 館林都市圏はデマンド交通※ではなく路線バスでカバーしています。館林北部から館林南部、館林北部から館林西部の移動が多く、直通ではなく館林駅を経由するルートで連絡されています。
- 太田市・大泉町はデマンド交通※でカバーされていますが、太田市の北部は最寄り鉄道駅への需要が少なくバス路線がサービスされていないため、直接、太田駅へアクセスする需要が多くなっています。
- 桐生市・みどり市では、黒保根町内、新里町内及びみどり市内はデマンド交通※でカバーされ、路線バスが運行されていません。そのゾーン間の移動需要がみられます。
- 東毛広域圏外との結びつきは、代表交通手段でみると伊勢崎市及び前橋市との移動が多く、駅端末でみると足利市及び熊谷市との移動量が多くなっています。

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

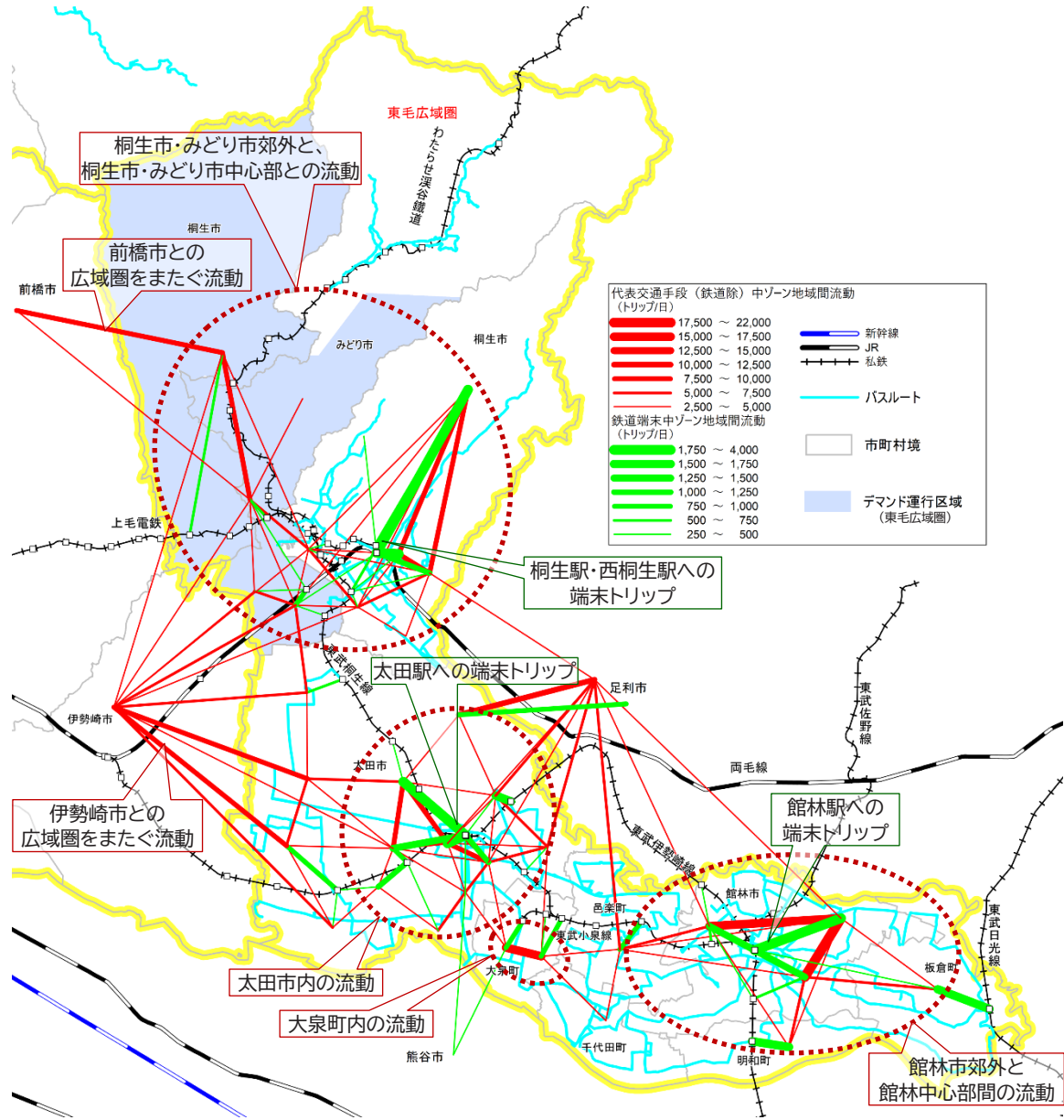


図 3-42 代表交通手段(鉄道除く)と駅端末の中ゾーン間流動

- ※ 東毛広域圏外については、代表交通手段、鉄道駅端末交通手段とも市町村単位で集約
- ※ みどり市のデマンド交通※はミーティングポイント型※で乗降場所が限定されている。
- ※ 大泉町では利用者を高齢者・障害者・妊娠中の人に限定したデマンド交通※が運行している。(非表示)
- ※ 太田市では利用者を高齢者・障害者に限定したデマンド交通※が運行している。(非表示)
- ※ 明和町の乗合タクシーのチョイソコめいわは無料で実験実施中である。(非表示)

資料:群馬県パーソントリップ調査

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

3.2.5 まちづくりの問題・課題

東毛広域圏のまちづくりの問題・課題について、東毛広域都市計画圏・都市計画区域マスタープラン（令和2年12月）でのとりまとめ内容を整理しました。

表 3-36 広域都市計画圏の問題・課題

問題・課題	解説
「まちのまとまり」が形成されつつあるとはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ○県のものづくりに関する技術・人の集積地であり、桐生、太田、館林、みどり都市計画区域を中心に都市計画区域を超えた生活圏が形成されており、足利市や佐野市などを含めた両毛広域都市圏との結びつきが強いです。 ○本広域都市計画圏全体で人口減少がみられ、その傾向は今後も継続すると見込まれています。また、公共交通利用圏内で全体の人口減少数に相当する人口減少がみられます。 ○市街化区域内で人口減少がみられ、その外縁部や外側で人口増加がみられます。 ○郊外部における無秩序な開発を抑制しつつ、公共交通の周辺をはじめとする市街地に居住と都市機能の立地を誘導することで市街地内の住宅用地の減少を抑え、人口密度を確保することが必要です。
「災害に強い安全・安心な都市の形成」	<ul style="list-style-type: none"> ○浸水対策などをはじめとした、誰もが安全・安心に暮らすことができる都市基盤整備が必要です。
「地域資源と交通利便性の高さを活かした観光産業の活性化」	<ul style="list-style-type: none"> ○本広域都市計画圏にある豊かな自然や豊富な歴史文化・観光資源と、鉄道や高速道路等の交通利便性の高さを活かした観光産業の活性化が必要です。
「地域の実情に応じた移動手段の確保」	<ul style="list-style-type: none"> ○県全体と比較して、自動車の利用率が高く、公共交通では、特にバスの利用率が低いです。 ○バス交通の利便性向上等を図り、地域特性に応じた公共交通ネットワークや移動手段を確保することが必要です。
「広域交通の要衝である地域の強みを活かした産業の更なる発展」	<ul style="list-style-type: none"> ○年間商業販売額は県全体の2割程度ですが、製造品出荷額は県全体の約5割を占めており、その増加率も高い状況にあります。 ○地域間競争が更に激しさを増す中、産業活力の更なる向上に向け、既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化や地域経済の活性化、利便性の向上等を促進するための取組が求められています。

3.2.6 公共交通の問題点

本章で提示した現況分析結果や、まちづくりの問題点、加えて各市町村の総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画※なども踏まえ、各市町村域における公共交通の問題点を抽出します。なお、ここでは、都市計画区域マスタープランにおいて、主に線引き都市計画区域を含む市町村を都市部、非線引き都市計画区域※を含む市町村を郊外部、その他市町村域内に一定の広がりをもつ過疎集落等を抱えている市町村を中山間地域として区分し、地域特性に着目して問題点を整理しました。

(1) 都市部の公共交通の問題点

都市計画区域マスタープランにおいて、主に線引き都市計画区域を含む、都市部を抱える市町村からは、以下の公共交通の問題点が集約されます。

表 3-37 都市部の公共交通の問題点

市町村等	公共交通の問題点
桐生市・みどり市	<ul style="list-style-type: none"> ・桐生市では路線バスが運行されていますが、鉄道とバスを乗り継ぐ利用は少なくなっており（桐生駅での鉄道端末手段のバスの割合は0.8%）、乗り継ぎ利便性向上策の検討が必要です。 ・低密な市街地は水害等災害リスクも抱えており、需要特性への適切な対応と災害時のモビリティ確保が公共交通の課題です。
太田市・大泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バスとも中心部から放射状に運行されていますが、方面によっては必ずしも運行本数が十分ではありません。 ・太田駅北部にはバスが運行されていません。 ・鉄道とバスを乗り継ぐ利用は少なくなっており（太田駅での鉄道端末手段のバスの割合は5.5%）、乗り継ぎ利便性向上策の検討が必要です。 ・災害リスクを踏まえた居住誘導地域の設定に対応した、モビリティ確保方策の検討が望まれています。
館林市・板倉町・明和町・千代田町・邑楽町	<ul style="list-style-type: none"> ・館林駅を中心に、1市4町が連携してコミュニティバスを運行しており、コミュニティ交通※特有の問題である自市町村内運行とはなっておらず、生活圏に合った路線となっていますが、路線によっては必ずしも運行本数が十分ではありません。 ・鉄道端末のバス利用は少なく（館林駅での鉄道端末手段のバスの割合は4.0%）、乗り継ぎ利便性向上策が必要です。 ・バスの運行本数が少ない公共交通不便地域、鉄道駅やバス停から離れている公共交通空白地域のほか、災害リスクの高い地域が広がっており、交通弱者や災害時の対応が必要です。
都市部共通	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道網が充実しており、それを補完する路線バスが駅を中心に運行されていますが、バスの運行本数が少ないため、鉄道とバスとの乗換えが進んでいません。 ・水害リスクが高いエリアもあり、災害時のモビリティサービスが確保されていないです。

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

(2) 郊外部の公共交通の問題点

都市計画区域マスタープランにおいて、非線引き都市計画区域※を含む、郊外部を抱える市町村からは、以下の公共交通の問題点が集約されます。

表 3-38 郊外部の公共交通の問題点

市町村等	公共交通の問題点
桐生市・みどり市	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり市では、路線バスの代わりに、デマンド交通※が運行されていますが、定時定路線ではなく、通勤・通学などの定常的な市民の移動や、交通弱者、来街者にとっては、わかりにくく、利用しづらいサービスとなっています。 ・みどり市と桐生市は相互に隣接し、一体的な地域を形成していますが、みどり市のデマンド交通※と桐生市のコミュニティバスの相互の連携は必ずしも十分ではありません。
太田市・大泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・太田市北部（藪塚地区）には、公共交通空白地域が広がっており、交通弱者対策が必要です。 ・災害リスクを踏まえた居住誘導地域の設定に対応した、モビリティ確保方策の検討が望まれています。
郊外部共通	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・高齢化の進行とともに、公共交通利用圏外での市街地の拡散が進みます。

(3) 中山間地域の公共交通の問題点

市町村域内に一定の広がりをもつ過疎集落や中山間地域を抱えている市町村からは、以下の公共交通の問題点が集約されます。

表 3-39 中山間地域の公共交通の問題点

市町村等	公共交通の問題点
桐生市・みどり市	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり市、桐生市黒保根でデマンド交通※が運行され、交通空白地有償運送が運行されています。今後、公共交通不便地域においてはさらなる高齢化の進展による交通弱者の増加が見込まれることから、生活の質の確保につながる適切な移動手段の検討、導入が望まれます。 ・また、デマンド運行のため、定常的な利用者、交通弱者、来街者にとって、利用しづらい交通サービスとなっています。
中山間地域共通	<ul style="list-style-type: none"> ・山間部においては、既存公共交通サービスの経営悪化による運行サービスの低下や撤退が懸念されます。

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

3.2.7 東毛広域圏のまちづくりと公共交通の課題と方針

東毛広域圏としてのまちづくりと公共交通の課題・方針を、以下の通りまとめました。

(1) まちづくりと公共交通の課題

- ① 生活スタイルに合っていない公共交通サービスと担い手不足の深刻化
 - 普段から公共交通を利用する人は、転居先として鉄道・バスが利用しやすい地域を希望する傾向があり、県外の若年層が群馬県に戻りたくない理由として公共交通が不便なことが挙げられている現状があります。これを打破し、日常生活の移動を支える交通サービスを提供・維持していくことが求められます。
 - 広域的な拠点となる駅と地域内の拠点をネットワークする移動手段の確保が必要です。
- ② 公共交通の負のスパイラル、少子高齢化による需要低迷、採算性の悪化による路線の縮小・廃止、サービス水準の低下(定時性や利便性の低さ)
 - 少子化の影響により、将来は鉄道利用割合の多くを占める通学利用も大きく減少する見込みであり、利用者の減少による公共交通のサービス水準の低下、さらなる利用者の減少の負のスパイラルの進展が懸念されます。
 - こういった状況から脱却するため、限られた公共交通のリソースを最大限に活用した、メリハリのある公共交通サービスの提供が求められます。例えば山間部などでは、地域の暮らしに見合った公共交通ネットワークや移動手段の確保が必要です。
- ③ まちづくりと公共交通の連携がなされておらず、まちのまとまりの形成や災害リスク対策が進んでいない
 - 公共交通利用圏から外れた市街化調整区域[※]などで、無秩序な市街地の拡散が継続しており、人口減少社会の進展を見すえ、まちのまとまりの形成に向けた、まちづくりと連携した公共交通サービスの提供に向けた関連施策の実施が急務です。
 - 郊外部における無秩序な開発を抑制しつつ、公共交通の周辺をはじめとする市街地に居住と都市機能を誘導し、市街地の人口密度を確保することが必要です。
 - 土砂災害や水害等の災害リスクを抱えた市街地が広がっており、立地適正化計画[※]等においては、これらの現状を踏まえた居住誘導地域が設定されています。こういったまちづくり計画に対応し、平常時だけでなく災害時にも対応した公共交通サービス提供方策の検討が、必要とされています。
- ④ 主要観光地間の周遊性の低さ
 - 県内各地に多彩な観光資源を有しながら、主要観光地への滞在は1箇所のみが多くなっています。特に公共交通の維持が困難となっている中山間地等ではこれらの観光資源を活かし、人を呼び込むことが出来る公共交通手段を提供することで、観光客の周遊性を高めつつ、地域の移動手段を維持していくことが求められます。
 - 観光 MaaS[※]の活用など、広域的な観光周遊に対応した公共交通ネットワークの構築が必要です。

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

(2) 取組方針

① まちづくりの方針(東毛広域都市計画圏で取り組む基本方針)

都市計画区域マスタープランで示されている、まちづくりの基本方針は、以下の通りです。

- 人口減少を前提とした土地利用計画にあわせた公共交通や都市施設の再構築。
- 地域の誇れる個性・景観・暮らしを支える機能を整えた魅力的な「まちのまとまり」づくり。
- 都市間移動も都市内移動も高い利便性の確保。
- 災害時でも安全・安心な都市の防災機能の強化。
- ぐんまの強みを活かした産業の誘致や新エネルギーによる産業創出環境づくり

② 公共交通の取組方針

「2.3.3 将来像の実現に向けた課題と基本方針」において提示した、群馬県全体として提示した5つの基本方針に加え、東毛広域圏としての問題・課題を踏まえた公共交通の取組方針を、以下の通りまとめました。

4章では、県全体の5つの基本方針に沿った施策・事業を提示しますが、広域圏毎に抱える交通まちづくりの問題・課題などの特性を踏まえ、具体的な施策を組み合わせることで取り組むことが有効です。

《都市部》

- 軸となる幹線バスの配置と利用しやすい運行サービス（運行本数）の提供
- 鉄道、バス、その他さまざまな移動手段相互の連携、利便性の向上
- 交通弱者を対象とした、生活の質の確保につながる適切な移動手段の検討・導入
- 災害リスクを抱えた都市部市街地におけるモビリティ確保。

《郊外部》

- 定常的な利用者、交通弱者、来街者にとって利用しやすい交通手段の検討
- 一体的な生活圏の形成に対応した、中心市と郊外を結ぶバスサービス、もしくはそれに変わる運行サービスの提供
- 交通弱者を対象とした、生活の質の確保につながる適切な移動手段の検討・導入
- 災害リスクを抱えた郊外部市街地におけるモビリティ確保

《中山間地域》

- 交通弱者を対象とした、生活の質の確保につながる適切な移動手段の検討・導入
- 定常的な利用者、交通弱者、来街者にとって利用しやすい交通手段の検討

3.2.8 将来にわたって維持・確保すべき公共交通軸

(1) まちづくり関連計画の整理

群馬県交通まちづくり戦略は、立地適正化計画[※]等のまちづくり計画と一体となり、都市構造を形成するものです。そこで次表のまちづくり計画に示されている拠点を整理したものが次頁の図です。

表 3-40 対象とした計画

市町村	根拠資料
東毛広域 都市計画圏	東毛広域都市計画圏 都市計画区域マスタープラン (令和2年12月)
館林都市圏	館林都市圏広域立地適正化に関する基本方針 (平成29年5月)
桐生市	桐生市都市計画マスタープラン (令和2年4月) 桐生市コンパクトシティ計画(立地適正化計画 [※]) (平成31年3月)
太田市	太田市都市計画マスタープラン (平成30年5月) 太田市立地適正化計画 [※] (令和2年12月)
館林市	館林市都市計画マスタープラン (令和3年3月) 館林市立地適正化計画 [※] (平成31年4月)
みどり市	みどり市都市計画マスタープラン (平成30年7月)
板倉町	板倉町都市計画マスタープラン (平成27年3月)
明和町	明和町都市計画マスタープラン (平成28年3月) 明和町立地適正化計画 [※] (平成30年6月)
千代田町	千代田町都市計画マスタープラン (令和3年3月) 千代田町立地適正化計画 [※] (令和3年6月)
大泉町	大泉町都市計画マスタープラン (令和3年3月)
邑楽町	邑楽町都市計画マスタープラン (平成30年3月) 邑楽町立地適正化計画 [※] (平成30年3月)

※ 用語の意味は、巻末の用語解説をご覧ください。

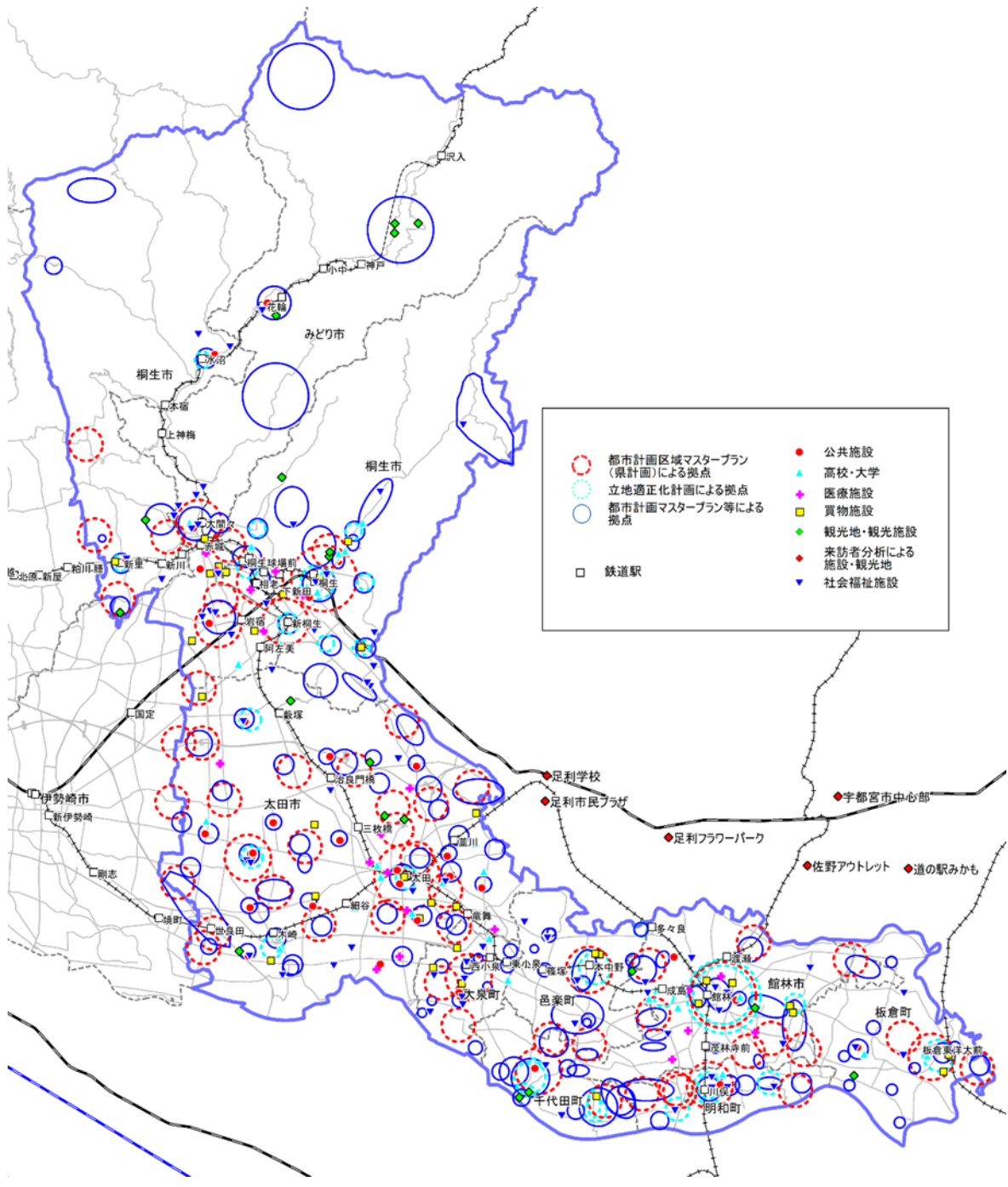


図 3-43 まちづくり計画等における拠点設定状況

資料:各種資料等をもとに群馬県作成

表 3-41 拠点一覧(1)

集約番号	主要／地域	地区内の施設	メッシュ番号	鉄道駅
1	主要	太田市美術館・SUBARU群馬製作所本工場・太田駅	543933501	太田
	主要	太田市役所	543933403	
	主要	太田地方裁判所太田支所	543932494	
	主要	本島総合病院	543932592	
	主要	太田市保健センター	543933404	
	主要	コープくんまコープ新井店	543932492	
	主要	群馬銀行太田支店	543933401	
2	主要	イオンモール太田・太田市東サービスセンター	543933521	
3	主要	桐生市役所・桐生厚生総合病院	543942863	桐生 西桐生
	主要	桐生駅	543942962	
	主要	MEGA・ドン・キホーテ桐生店・桐生第一高等学校	543942964	
	主要	樹徳高等学校	543942864	
	主要	群馬県立桐生高等学校・桐生市立商業高等学校	543942961	
	主要	群馬銀行桐生支店	543942971	
	主要	桐生信用金庫本町支店	543942973	
	主要	桐生信用金庫本店	543942862	
4	主要	アバンセ浜松町店	543942873	
4	主要	ニコモール新田・太田市西サービスセンター・ジョイフル本田新田店	543932641	
	主要	JAファーマーズプレイス	543932643	
	主要	新田庁舎	543932632	
5	主要	大間々ショッピングセンターさくらもーる・療養センターきぼう	543942924	
	主要	カワチ薬品桐生西店	543942933	
	主要	大間々ショッピングプラザ	543952022	
6	主要	ベシアおおたモール・九合行政センター	543933302	
	主要	SUBARU群馬製作所矢島工場	543932392	
	主要	常盤高等学校	543933304	
	主要	商店等	543933301	
	主要	(医)慶仁会城山病院	543933303	
7	主要	SUBARU健康保険組合太田記念病院	543932584	
	主要	太田行政センター	543932594	
	主要	群馬県立太田女子高等学校	543932593	
8	主要	館林市役所・館林城沼	543924931	館林
	主要	ベルク・ウエルシア館林大街道店	543934021	
	主要	みずほ銀行館林支店	543924924	
	主要	館林駅	543924923	
	主要	館林本町郵便局	543924922	
	主要	スギドラッグ館林店	543934031	
	主要	館林記念病院	543934022	
9	主要	ベシア大間々店	543952121	赤城
10	主要	群馬大学 理工学部・群馬県立桐生工業高等学校	543952074	
	主要	桐生が岡公園 水族館	543952071	
	主要	フレッセイ天神店	543952172	
	主要	桐生が岡公園	543952073	
11	主要	ヤマダ電機ヤマダアウトレット太田店	543932582	
	主要	とりせん太田新井店	543932491	
	主要	群馬県立太田高等学校	543932591	
	主要	オリンピック太田店	543932493	
12	主要	(医社)三思会東邦病院	543942644	
	主要	株式会社両毛システムズ	543942652	
	主要	阿左美駅	543942642	阿左美
13	主要	フードマーケットカスミ館林店	543924821	
	主要	フレッセイ館林店	543924822	
14	主要	太田宝郵便局	543932464	
	主要	フレッセイ宝泉店	543932462	
15	主要	日野自動車新田工場	543932511	
16	主要	SUBARU群馬製作所大泉工場	543933224	
17	主要	ジョイフル本田千代田店	543923474	
18	主要	明電舎太田事業所	543932264	
	主要	工場等	543932273	
19	主要	ケンゾーアジュール店	543924832	
	主要	(医)慶友整形外科病院	543924841	
20	主要	ベシア桐生境野店	543942674	

表 3-42 拠点一覧(2)

集約 番号	主要/ 地域	地区内の施設	メッシュ番号	鉄道駅
22	地域	パナソニック株式会社東京製作所	543933012	
	地域	ベスタ大泉店	543933022	
	地域	フィリオ大泉ショッピングセンター	543923933	
	地域	大泉町役場	543923923	
	地域	パナソニック株式会社東京製作所	543933021	
	地域	工場等	543923931	
	地域	商店等	543923924	
23	地域	AZELEA MALL	543924952	
	地域	カワチ薬品館林東店	543924854	
24	地域	とりせん館林富士見町店	543924912	
	地域	公立館林厚生病院	543924913	
	地域	群馬県立館林高等学校	543924911	
25	地域	藪塚本町郵便局	543942332	
	地域	藪塚本町行政センター	543942234	
26	地域	ヤオコー 桐生境野店	543942681	
27	地域	みどり市立笠懸図書館	543942722	
	地域	みどり市役所	543942721	
	地域	桐生大学グリーンアリーナ	543942731	
28	地域	ミツバ本社	543942763	
	地域	商店等	543942754	
	地域	工場等	543942663	
	地域	新桐生駅	543942752	新桐生
29	地域	群馬県桐生合同庁舎	543942944	天王宿
	地域	工場等	543942943	
30	地域	会社等	543942573	
	地域	工場等	543942574	
31	地域	ベシア新里店	543951082	新里
	地域	新里支所	543951091	
32	地域	ヤオコー太田小舞木店	543933313	
	地域	太田市運動公園	543933312	
	地域	大利根倉庫	543933411	
33	地域	ウエルシア邑楽町中野店	543933173	
	地域	邑楽ショッピングセンターカムル・とりせん邑楽町店	543933174	
34	地域	群馬県立館林女子高等学校	543924934	
	地域	つつじが岡公園	543924941	
35	地域	大間々庁舎	543952114	
	地域	群馬県立大間々高等学校	543952212	
	地域	大間々駅	543952221	大間々
36	地域	生品行政センター	543932753	
37	地域	群馬県立太田東高等学校	543933633	
38	地域	医療法人社団全仁会高木病院	543942843	
39	地域	太田東本町郵便局	543933503	
	地域	工場等	543933601	
	地域	大光院	543932694	
41	地域	千代田町役場	543923553	
42	地域	館林警察署・JA邑楽	543924751	
44	地域	鳥之郷行政センター	543932772	
45	地域	邑楽町役場	543933062	
46	地域	株式会社オギハラ	543933104	
	地域	西矢島町交差点	543933201	
48	地域	太田東部工業団地	543933924	
	地域	太田東部工業団地	543933921	
49	地域	東部工業団地	543932663	
50	地域	アリエット太田	543943104	
	地域	アリエット太田	543943102	
51	地域	明和町役場	543924522	
	地域	川俣駅	543924521	川俣
52	地域	医療法人財団明理会イムス太田中央総合病院	543933901	
53	地域	フィリオ板倉ショッピングセンター	543925614	板倉東洋大前

表 3-43 拠点一覧(3)

集約 番号	主要/ 地域	地区内の施設	メッシュ番号	鉄道駅
56	地域	ミツバ新里工場	543941884	
57	地域	大利根工業団地	543923822	
	地域	味の素冷凍食品関東工場	543923823	
58	地域	工場等	543952132	
59	地域	太田情報商科専門学校・太田医療技術専門学校	543933712	
	地域	蕪川駅	543933623	蕪川
60	地域	アドバンテスト群馬R&Dセンター	543923493	
	地域	千代田工業団地	543923484	
61	地域	館林工業団地	543923894	
62	地域	坂本工業株式会社本社	543932563	
63	地域	新田北部工業団地	543932931	
64	地域	鞍掛第一工業団地	543923771	
	地域	鞍掛第一工業団地	543923772	
65	地域	ポートレース桐生	543942744	
66	地域	尾島工業団地	543932322	
67	地域	板倉町役場	543924781	
68	地域	ぐんまこどもの森	543932891	
69	地域	多々良沼・館林市 障がい者総合支援センター	543933092	
70	地域	道の駅おおた・太田市役所尾島庁舎	543932134	
71	地域	カリビアンビーチ	543941784	
72	地域	サップロビール群馬工場	543932253	木崎
73	地域	岩宿駅	543942734	岩宿
74	地域	道の駅富弘美術館/草木ドライブイン	543962692	
75	地域	細谷駅	543932374	細谷
76	地域	やぶ塚温泉	543942354	
77	地域	ぐんま昆虫の森	543951292	
78	地域	宝徳寺	543952451	
79	地域	国道354号バイパス邑楽南中学校東側	543923873	
80	地域	アクロス館林	543924901	
81	地域	尾島行政センター	543932141	
82	地域	黒保根支所	543962022	
83	地域	東支所	543962244	
84	地域	株式会社両毛システムズ	543942652	

